

金泉寺

金泉寺は平安時代の初め頃(806年)に空海(弘法大師)が建立した寺で、真言宗道場として、山岳信仰とともに栄えました。戦国時代(1574年)にはキリスト教徒の焼き討ちにあい、江戸時代(1663年)には諫早家により再興されるなど、衰退と繁栄を繰り返してきました。



昭和44年長崎国体を期に建てられた金泉寺の老朽化が著しく、貴重な仏像も雨露を直に受ける状態であったため、平成21年に現在の金泉寺に再建され、本尊不動明王や千手観音も修復されました。現在、本尊不動明王と二童子立像の木像不動三尊像(県指定有形文化財)は、諫早市美術・歴史館に寄託中です。



太良嶽山金泉寺 護持協賛会

金泉寺が平成21年に再建された際に組織された「多良嶽山金泉寺再建委員会」が前身で、金泉寺やその周辺の維持管理、春と秋年2回の大祭や毎月の護摩法会月例祭などを運営されています。



山歩きマイスター 長治宏さん、一女さんご夫妻

「山を歩こう～長崎・佐賀の美しい山々～」の著者。諫早市在住。趣味の山歩きが高じ発行した著書が大人気。ビギナーからベテランまで、長崎や佐賀の山歩きの参考書としてどうぞ。今回のマップ作成にあたり、現地をご案内いただきました。



山ガイド 「とどろき木魂の会」

地元在住で轟峡や多良岳をこよなく愛し、轟峠の魅力を発信する観光ガイドやトレッキングの案内人として活動されている男性6人、女性2人、合計8人のグループ。轟峠の巨木、珍木、花や滝などは、お任せください。

観光ガイドの申し込みは、1週間前までに諫早観光物産コンベンション協会へ。

多良岳登山者 山の会

多良岳金泉寺山小屋の管理人で、多良岳登山のスペシャリスト。多良岳は、春はマンサクなどの山野草や新緑、夏はオオキツネノカミソリや蛍、秋は紅葉、冬は霧氷と四季を通じて見どころが多く、登山客が県内外からたくさん訪れています。そんな登山客を温かく迎えてくれるのが、山小屋の薪ストーブと管理人の皆さん。土日祭日には宿泊もできます。ストーブを囲んで、山や花など登山談義はいかがですか?

【連絡先】090-7463-4944 (管理人渡辺)

【料金】1泊大人1,000円、中学生以下500円

毛布200円/枚



●コースに関する問い合わせ先

2018年3月

諫早市 商工観光課 Tel.0957-22-1500 Fax.0957-22-2462

●新たな魅力を発見したら、こちらまで

(一社)諫早観光物産コンベンション協会

Tel.0957-22-8325 Fax.0957-22-8354

www.isahaya-kankou.com



吉井勇

大正期・昭和期の歌人吉井勇は、轟峠や多良岳を訪れ、その大自然の営みに魅了され、多くの作品を残しています。

現在、轟の滝周辺や多良岳などに吉井勇が詠んだ歌の看板が点在しており、吉井勇が詠んだ歌の情景を楽しむことができます。



おのづから
雄こゝろ胸にとどるなり
轟の滝は ますらとの滝

多良嶽の 九十九瀑の水けむり
あつむるところ 雲もこそ湧け

石楠花の 大群落の中に来ぬ
うつしこのこじ よ如何で思はむ



見どころ
**金泉寺、ヒメシャラ、
轟の滝 など**

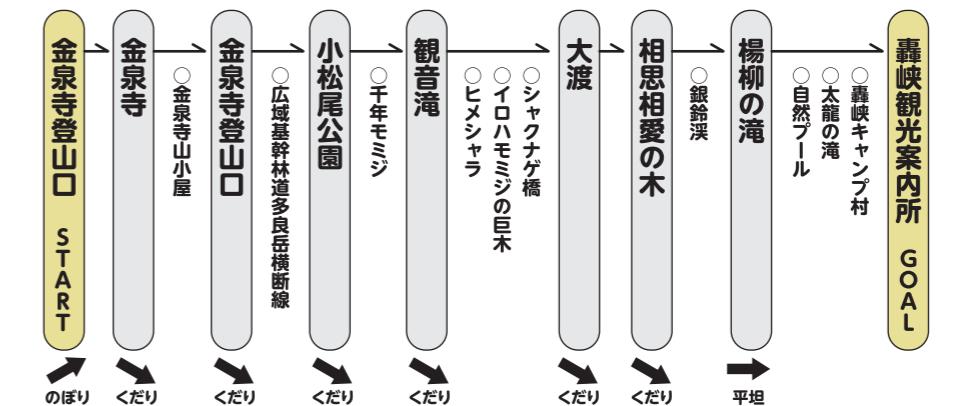
おすすめの季節
春・夏・秋・冬

新日本歩く道紀行100選

テーマ: 森の道

スタイル: ハイキング・トレッキング

所要時間: 約2時間半 5.9km



大小30余りの滝を連ねる轟渓流。斜面に根を張る千年モミジなど古木・珍木。黄金に輝くヒメシャラ、春はツクシシャクナゲ、夏はオオキツネノカミソリ、秋はモミジ、冬はツララ。四季の彩りと点在するパワースポットを感じませんか。

